

2021年は、仏様のお導きで一陽来復！ 良い一年にいたしましょう！！

人生を好転させる禅の教え  
だ い ち お う ご ん  
**大地黄金の開運術**

曹洞宗徳雄山建功寺住職 柘野俊明  
(価格) 1300円+税 (出版元) ビジネス社

株式会社ビジネス社（東京都新宿区 代表取締役：唐津隆）は、新刊書籍『人生を好転させる禅の教え 大地黄金の開運術』を12月21日に発売いたします。ぜひ、貴メディアにてご紹介いただけますと幸いです。

**“開運”を仏様にお願いするのは、おかしくありません**

開運というと、神様にお願いするものというイメージがあるかもしれませんが、まずその意識を払拭しましょう。開運を仏様にお願いするのは、少しもおかしなことではないのです。

初詣も、いまは神社派と寺院派に分かれているようですが、かつては神社とお寺の両方に詣でるのが一般的でした。年が明けたら近所の氏神様にお参りし、その後、菩提寺に向かって、ご本尊様とご先祖様に新年のご挨拶をするのが習いだったのです。

**どのような経験も「学び」に変えられる！**

予期せぬコロナ禍によって、不安や悩み、心配事に心が覆われている方もいらっしゃるでしょう。しかし、このようなときだからこそ、禅に目を向けてください。禅はどんな難局にあっても、やるべきことを示してくれます。困難を乗り越えていく心の在り様、持ち方を教えてくれます。

不運としか思えない状況を幸運に転じること。そこに、禅の考え方、つまり、“禅発想”の真骨頂があります。

本書は、心に染みる禅語とともに、ピンチをチャンスに変える禅の考え方を、禅僧がわかりやすく解説します。

**本書をヒントとして幸運をつかみ、良い一年を送りましょう**

禅では、日常の立ち居ふるまいのすべてが修行だと考えます。日々の禅の実践がもたらすのは、仏教的には「悟り」です。これを身近に引き寄せていけば、穏やかな心、安らかな心、といえるでしょう。

煩惱から離れたまっさらな心は、もっとも幸福に満たされた心であり、幸運を引き寄せるパワーにあふれた心ともいえます。本書をヒントとして、喜びごとの多い一年を送ってください。





### 【柘野俊明(ますの しゅんみょう) プロフィール】

曹洞宗徳雄山建功寺住職、庭園デザイナー、多摩美術大学環境デザイン学科教授。大学卒業後、曹洞宗大本山總持寺で修行。「禅の庭」の創作活動によって、国内外から高い評価を得る。芸術選奨文部大臣新人賞を庭園デザイナーとして初受賞。ドイツ連邦共和国功労勲章功労十字小綬章を受章。2006年『ニューズウィーク』日本版にて、「世界が尊敬する日本人100人」に選出される。庭園デザイナーとしての主な作品に、カナダ大使館、セルリアンタワー東急ホテル庭園など。著書に『禅が教えてくれる 美しい人をつくる「所作」の基本』(幻冬舎)、『心配事の9割は起こらない』(三笠書房)、『寂しさや不安を癒す 人生のくすり箱』(KADOKAWA/中経出版)、『生きるのがラクになる椅子坐禅』(小学館)、『50代を上手に生きる禅の知恵』(PHP 研究所)などがある。

### 【本書の構成】

#### ・第一章 仏様のお力で開運する

お願い事の土台は「感謝」／人知を超えた大いなる「力」を信じる  
他人の目は気にしなくていい／心の塵を払って一日を始める など

#### ・第二章 すべての運は、人の縁が運ぶ

譲ると“ご褒美”がもらえる／怒りは運を遠ざける／相手を心地よくさせる人は、必ず運が開ける  
「みんな違って、みんないい」の心で中道を探す／見返りを求めないと、幸運に出会える など

#### ・第三章 平常心で努力をつづける

コツコツつづけると運が開ける／周りの評価から自由になろう  
過去の失敗、悔しさ、つらさは、成長の糧に変える  
三つの結界で仕事モードを脱ぎ捨てる／整理整頓できる“整った心”に幸運が訪れる など

#### ・第四章 お金が生きる使い方をする

お金は「品」よく使うことが大事／人間の欲望は、満たされることはない  
自分を幸せにしない指示や命令は、断る気概をもつ  
幸運を見つけようとする人が幸運になる／お金は手放すと、返ってくる など

#### ・第五章 明るい未来を信じる

自分の夢を言葉にする／陰口、悪口は運気を逃がす  
そのときどきで、やるべきことをやる／自分のいる場所で精いっぱい取り組む  
未来は考えてもわからない／自分の“納得感”を大事にする など

### 【お問い合わせ先】

株式会社ビジネス社 PR 担当：松矢

〒162-0805 東京都新宿区矢来町1-1-4 番地

神楽坂高橋ビル5F

E-mail : matsuyapress@gmail.com

携帯:09072611982

TEL03-5227-1602 / FAX 03-52271603

著者への取材、企画ご協力、読者プレゼントご対応も承ります。